

県立名古屋高等 技術専門校



本校では、ROBOCUBEを年間60時間、授業で利用しています。

前期30時間

タイル言語によるロボットの製作

ロボット製作 発表会

トレースロボットのタイムトライアル

簡易コースを作成

縦 69cm

横 135cm

ライン幅 3cm



結果 (タイム)

1位 47.35秒

2位 53.65秒

3位 66.69秒

後期30時間

VisualBasicによる制御

自由課題

プログラミング言語による

ロボット製作 発表会



ROBOCUBEを授業に取り入れたポイント

限定された利用方法しかできないツールを採用するより、ワンランク上の機器としてROBOCUBEの導入を決めました。例えば、プログラム講習の際にROBOCUBEはVisualBasicやC言語に対応していることから、いろいろなアプローチが柔軟にできると考えたからです。

プログラミング学習後の生徒は商品標準ソフトのタイル言語より、プログラミング(VB、C++)の方が使いやすいという声もありました。

ただ、もう少し値段は抑えてほしい。(個人で買うことを考えると…欲しいけど！)

授業で困ったこと

トレースロボットのタイムトライアルは、1グループ4～5名に分かれて競いあったのですが、コースが紙をつなぎ合わせた手作りであることなどの影響も考えられますが、ブロックにより個体差が見受けられたように思います。あと、タイル言語でプログラミングした際に、いろいろなプログラム方法があるため、正常動作しなかった場合の問題点が追跡できず、困りました。カリキュラムの停滞を避け、動くプログラムで続行しましたが、この辺りのマニュアルを今後は充実してもらいたいです。